

基本計画図(案)補足説明資料

ゾーン	ねらい	ゾーンの主な特徴	空間構成方法	参照頁	
本丸御殿・エントランス広場ゾーン	初雁公園の中核となる川越城本丸御殿の風格を高め、周辺広場と一体にぎわいを生み出す。	<ul style="list-style-type: none"> 絵図等に描かれている玄関口の旧状の復元や北門、土塁、土塀、休み処の景観復元を行う。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 「本丸住居絵図」をもとに玄関の旧状を復元し、かつての本丸御殿入り口部分の景観を復元する。 絵図に描かれている北門から本丸御殿までの郭を保存する。 絵図と江戸時代末期の城郭建築の類例から北門、土塁、堀を推定し、かつての景観を復元する。 絵図に描かれている Y 字形道路を保存し、北門からアプローチの景観を整える。 上記の保存、復元に伴う文化財的価値を発信する。	P.6、7、21	
		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場、芝生広場や市道 0001 号線から川越城本丸御殿が視認されるように土塁高さ等を調整する。 		P.12～16	
		<ul style="list-style-type: none"> 本丸御殿周辺に空間を多くすることで、本丸御殿の風格を高めるとともに、利用者の集合場所やイベント等ができる広場を設ける。 		公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 旧状を復元した玄関を活かし、本丸御殿の見学者の集合場所として活用する。 北門から本丸御殿までの郭のエントランス空間を活かし、様々なイベントスペースとして利用する。 復元した北門の土塁から市道 0001 号線までのエントランス空間を活かし、様々なイベントスペースとして利用する。 本丸御殿の見学者のアプローチとして利用する。 本丸御殿側はにぎわい広場として活用する。 	P.11
		<ul style="list-style-type: none"> 受付・案内、カフェ・売店等を集約した公園の運営とサービスのセンター施設を設ける。 センター施設の周辺にトイレやシャトルバス乗り場、タクシープール、身障者駐車場を設け、利便性を高める。 		P.11	
三芳野神社・社叢・参道ゾーン	三芳野神社と社叢・参道の景観を保全し、静寂な空間を保つ。	<ul style="list-style-type: none"> 三芳野神社の見学や散策が心地よくできるように現状の景観を維持する。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 三芳野神社を保存し、文化財的価値を発信する。 三芳野神社と社叢・参道の景観を保全する。 上記は三芳野神社との協力連携により行う。	P.6、7	
土塁跡・学習広場ゾーン	旧状のわかる土塁の遺構を活かした展示や、遺構等の復元展示などで学習を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 本物が残る土塁を展示し、体感できるようにする。 川越城の通路を園路として利用し、三芳野神社へつながる道の両側に土塁がある景観の復元等を行う。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 土塁の旧状のわかる遺構を活かし保存展示し、学習できるようにする。 絵図に描かれている三芳野神社からの道路を保存活用する。 上記の保存、復元に伴う文化財的価値を発信する。 三芳野神社と一体の土塁群の城址としての景観を保全する。 公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 土塁群や堀跡を活かした歴史学習の広場として活用する。 歴史を感じさせる道路として活用する。 既存建築物の転用等をし、遺構等の復元展示や川越城の 1/30 模型による学習の場として活用する。 	P.20	
		<ul style="list-style-type: none"> 広場の一部については、天神門の復元展示や、川越城の縮小模型展示などにより、体感しながら学べるような検討をする。 		P.20	
土塁跡・歴史の道ゾーン	「遺構等の保存と旧状の復元エリア」と「遺構等の顕在化と活用エリア」を区分し、本丸の縄張を体感できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 盛土により土塁を視覚化し、園路としての活用もできるように、高さを低く抑えている。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 土塁の地中の痕跡を確認し、痕跡がある場合は覆土による保存をし、形状を活かして視覚化を行う。 公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 土塁跡を盛土により視覚化し、園路を川越城を学べる歴史の道として活用する。 盛土による土塁跡上部を園路として活用する。 遺構等の保存と旧状復元エリアと遺構等の視覚化と活用エリアをつなぐ緩衝帯の役割を担う。(P.8 参照) 	P.7、13、14	
		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の道として、解説板や VR など川越城の土塁上を歩いているような想像ができるようにする。 		P.13、20	

ゾーン	ねらい	ゾーンの主な特徴	空間構成方法	参照頁	
堀跡・芝生 広場ゾーン	堀跡を体感できるようにするとともに、大規模な広場としての利活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 堀跡と土塁を視覚化できるように高さを抑えながら盛土を行う。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 堀底が残っていると思われるため覆土を行い保存し、文化財的価値を発信する。法面が残っている部分は覆土による保存をし、更にかつての土塁を想像させるように盛土を行う。 公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 広大なまとまった広場が確保できるため様々なイベントの広場として活用する。 健康づくりのための園地として活用する。 災害時の緊急避難場所として活用する。 	P.7、13～15	
		<ul style="list-style-type: none"> 堀跡は芝生広場として統一したイメージとする。 		P.7、11、13	
		<ul style="list-style-type: none"> 絵図に描かれている道路を園路として活用し、位置、形状が体感できるようにする。 		P.7、11、13	
		<ul style="list-style-type: none"> 様々なイベントやスポーツ大会を行えるようにまとまった広場とする。 		P.4、9	
		<ul style="list-style-type: none"> 初雁球場の記憶を伝えるために、スタンドの一部を活用したり、建物の一部を活用して初雁球場の歴史を伝える。スタンドは休憩やイベント等の見学に活用する。 新たなイベントやスポーツ大会などに活用できるように、仮設の野外ステージを設け移動設置ができるようにする。 		P.13、20	
帯曲輪・園 地ゾーン	帯曲輪の縄張が体感できるようにするとともに、まとまった園地としての利活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 絵図に描かれている道路を園路として活用し、位置、形状が体感できるようにする。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 帯郭門の調査を行い、旧状を復元し、かつての景観を復元する。 絵図に描かれている道路を園路として保存活用する。 上記の保存、復元整備に伴う文化財的価値を発信する。	P.7、11、13	
		<ul style="list-style-type: none"> 保育や小遠足のための広場や遊びのための遊具施設を導入する。 		公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 子育てのための遊び、コミュニティ、環境学習の園地などとして活用する。 健康づくりのための広場として活用する。 季節感・風景を活かした活動の場として活用する。 	P.4、9
新曲輪・駐 車場ゾーン	新曲輪の縄張が体感できるようにするとともに、まとまった駐車スペースを確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 旧川越城内建物の地上遺構はほとんど残存していないと推定され、かつて馬場であったことから駐車場を設ける。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 郭の地下遺構が残っていると思われるため覆土を行い保存する。 屏風折の土塁の旧状を確認し、かつての景観を視覚化する。 上記の保存、復元整備に伴う文化財的価値を発信する。	P.6、7、9、13	
		<ul style="list-style-type: none"> 常時必要な駐車場の規模を確保し、臨時対応分は多目的広場として常時は活用する。 		公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 多目的広場を設け堀跡の芝生広場と一体に利用する。また、臨時駐車場としても活用する。 駐車場を集約させ、公園と周辺施設の利用や中心市街地への回遊に資する。 災害時の緊急避難場所として活用する。 	P.19
		<ul style="list-style-type: none"> 屏風折の土塁は縄張の特徴の一つでもありことより、顕在化できるようにする。 		P.6、7、13、20	
新曲輪・親 水ゾーン	新河岸川の河川景観を活かし、新河岸川沿いの散策路のネットワーク化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 新河岸川沿いの堀跡を活かして散策路を設ける。 	遺構等の保存活用 <ul style="list-style-type: none"> 屏風折の土塁や堀跡の確認を行い、旧状の視覚化を行う。 公園としての利活用 <ul style="list-style-type: none"> 新河岸川の河川景観を活かす。 新河岸川沿いの散策路や広場として活用する。 	P.9、11、13、15	
		<ul style="list-style-type: none"> 新河岸川沿いの桜並木の景観を活かす。 		P.11	